

平成18年度  
年報

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE  
北海道立文学館  
(指定管理者)財団法人北海道文学館



## ■ 目 次 ■

◆目的及び事業	2～3
◆平成 18 年度事業概要	
I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業	4
II 展覧会事業 (1) 展覧会開催一覧	4
(2) 常設展の展示構成	5
III 教育普及事業	6
IV 北海道文学に関する調査研究事業	7
V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業	7
VI 啓発広報事業	7
VII 刊行物の刊行事業	8
VIII その他の付帯事業	8
◆統計・資料	
I 平成 18 年度 展覧会別観覧状況	9
II 平成 18 年度 事業別利用状況	9
III 平成 18 年度 資料収集状況	10
◆組織及び職員	
I 組織機構図	11
II 職員	11
◆その他	
I 文学館の歩み	12～13
II 諸会議・運営日誌	14～15
III 財団法人北海道文学館役員等名簿	16

## ■ 目的及び事業 ■

### ●北海道立博物館条例（抄）

（設置）

第1条 北海道における教育、学術及び文化の振興を図るため、北海道立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
北海道立北方民族博物館	網走市
北海道立文学館	札幌市
北海道立釧路芸術館	釧路市

（事業）

第3条 博物館は、次の事業を行う。

- (1) 資料を収集し、保管し、展示し、及び閲覧に供すること。
- (2) 展覧会、講演会等の催しを開催し、及び他のものが行うこれらの催しに協力すること。
- (3) 資料の利用に関し、必要な説明、助言等を行うこと。
- (4) 博物館（北海道立北方民族博物館（第6条において「北方民族博物館」という。）を除く。）の施設及び設備（以下「施設等」という。）を文学、美術等芸術に関する催しの利用に供すること。
- (5) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 資料の保管、展示等に関する技術的な研究を行うこと。
- (7) 解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (8) 他の博物館等と連携し、及び協力すること。
- (9) 地域の教育文化施設が行う北方文化、文学、美術等芸術に関する活動を援助すること。
- (10) その他設置の目的を達成するために必要な事業

（指定管理者による管理）

第4条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による指定を受けた法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第5条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号（第5号及び第6号を除く。）に掲げる事業に関すること。
- (2) 第8条第1項、第13条及び第16条第2項の承認に関すること。
- (3) 施設等の維持管理に関すること。
- (4) その他教育委員会が定める業務。

（開館時間）

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（北方民族博物館にあっては、午前9時30分から午後4時30分まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開館時間を変更することができる。

（休館日）

第7条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、博物館の管理運営上必要があるときその他特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日に開館し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（当該日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、休日に該当しない当該日の直後の日）

(2) 12月29日から翌年の1月3日まで

（利用料金）

第12条 利用者は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

2 前項の規定により指定管理者に納められた利用料金は、指定管理者の収入とする。

3 利用料金の額は、別表に定める額の範囲内において、指定管理者が知事の承認を受けて定める。これを変更しようとするときも、同様とする。

別表（第12条関係）

1 博物館に展示する資料を観覧する場合

(2) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の常設展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	220円	1人に 150円 つき
2 1以外の者(学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。)	450円	1人に 370円 つき

2 北海道立文学館の特別展示室又は講堂を利用する場合

区分	利用料金の上限額		
	午前	午後	1日
特別展示室			47,880円
講堂	5,460円	6,820円	12,280円

(4) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の特別展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者	710円	1人に 610円 つき
2 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	1,160円	1人に 860円 つき
3 1及び2以外の者(学齢に達しない者を除く。)	1,890円	1人に 1,470円 つき

## ■ 平成 18 年度事業概要 ■

### I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入総数（図書・雑誌及び特別資料等）	823 点
寄贈資料受入総数（同上）	4,205 点
計	5,028 点

整理・保存 収蔵資料のコンピュータ入力並びに収蔵資料の寄贈・寄託目録作成等。  
収蔵資料データベースの公開・検索システムの構築。

閲 覧 利用者 延べ 1,699 人

### II 展覧会事業

#### (1) 展覧会開催一覧

注：「区分」欄の無印は道負担金事業、※印は財団企画事業。

区分	事業名	実施時期 (日数)	観覧者数 (人)	展覧会の概要
	常設展 北海道の文学	通年 (299 日間)	6,670	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルを主眼に置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料を 1,350 点公開している。（※展示構成を次頁に掲載。）
	特別企画展 石川啄木 ～貧苦と挫折を超えて～	7/22(土) ～ 8/27(日) (37 日間)	2,756	中村稔（日本近代文学館理事長）の監修によるものに、当館が企画した「啄木と北海道」のコーナーを加えて構成・展示した。本道初公開である日本近代文学館蔵の多くの一級資料と、函館・釧路に在る資料を展示し、啄木の偉大な文業を紹介した。
	特別企画展 池澤夏樹のトポス ～旅する作家と世界の 出会い～	10/14(土) ～ 11/26(日) (44 日間)	1,967	芥川賞作家で帯広生まれの池澤夏樹は、世界各地を訪れた自身の眼を通して詩や小説を創作するとともに評論活動も展開している。本人が撮影した各地の写真や談話映像等とともに「旅する作家」の豊かな創造世界を紹介した。
	企画展 人生を奏でる二組のデュオ ～有島武郎と木田金次郎 ・里見淳と中戸川吉二～	2/17(土) ～ 3/18(日) (30 日間)	609	生きる立場や地域を超え、大正期に互いの人生をハーモナイズさせた二組の作家をそれぞれの小説作品と美術作品に沿って解説し、書簡・初版本・写真・絵画等の資料とともに紹介した。
※	企画展 写・文交響 ～写真家・綿引幸造の 世界から～	4/29(土) ～ 6/4(日) (32 日間)	1,217	札幌在住の写真家・綿引幸造の写真作品に、関連のある文芸作品の文章を添えて紹介し、写真芸術と文学が響きあう空間を演出した。
※	企画展 〈デルス・ウザーラ〉 絵物語展	6/10(土) ～ 7/9(日) (30 日間)	983	(財)北海道北方博物館交流協会との共催事業。探検家アルセーニエフの紀行文学「デルス・ウザーラ」の挿絵原画（画・パヴリーシン）と竹久夢二の作品を紹介した。
※	企画展 書房の余滴 ～中山周三旧蔵資料から～	12/9(土) ～ 1/27(土) (37 日間)	546	歌人・教育者・国文学者で歌誌「原始林」を牽引した中山周三が収集した膨大な資料群の中から、大正・昭和初期の雑誌や書簡・直筆原稿を紹介した。

〈常設展特設コーナー設置〉・8月 作家・吉村 昭氏追悼コーナー（18年7月31日没）  
・3月 作家・高橋揆一郎氏追悼コーナー（19年1月31日没）

## (2) 常設展の展示構成

### 〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎『札幌農学校』 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文学的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆) ◆変転する現代 高橋揆一郎「『伸予』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

### 〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙 短歌、俳句、川柳、児童文学については、系譜図の更新やレイアウトの変更など、一部を改訂した。

### 〈北海道の短歌〉〔山名康郎〕

◆北海道歌壇の動き 山下秀之助、酒井廣治、小田観螢、中城ふみ子ほか ◆来道歌人 斎藤茂吉、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤史、宮終二ほか ◆口語短歌 鳴海要吉、石川啄木ほか ◆アイヌの歌人 バチラー八重子、達星北斗、森竹竹市ほか

### 〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島藤六、高浜虚子、長谷川零餘子、白田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 斎藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 比良暮雪、佐々木丁冬、鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

### 〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

### 〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治～昭和前期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介。

### 〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

### 〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

### III 教育普及事業

注：「事業区分」の無印は道負担金事業、※印は財団企画事業。

事業区分	事業名	実施時期	観覧(参加)者 実績数(人)	備考	
	文芸講演会	「啄木の歌をどう読むか」(講師：詩人・中村稔氏)	7/22(土)	80	
	文芸講演会	「世界との出会い」(講師：作家・池澤夏樹氏)	10/14(土)	100	
※	文芸講演会	「静かな大地～誕生余話～」(講師：作家・池澤夏樹氏)	10/15(日) 会場：道立近代美術館	175	道立近代美術館、(財)北海道教職員厚生会と共催
	文芸セミナー	「ファインダーの向こうへ」(講師：写真家・綿引幸造氏)	4/29(土)	65	
※	文芸セミナー	「知床を描く」(講師：絵本作家・関屋敏隆氏)	9/9(土)	33	「ファミリー文学館」関連事業
※	文芸セミナー	「有島武郎と北の創造者」(講師：当館研究員・亀井志乃)	2/25(日)	52	
※	連続朗読会	「朗読のつどい」(朗読とお話：作家・池澤夏樹氏)	10/17(火)、10/18(水)、 10/19(木)	110	(財)北海道教職員厚生会と共催
※	朗読会	「朗読のつどい」(朗読とお話：作家・池澤夏樹氏)	10/22(日) 会場：帯広美術館	72	(財)北海道教職員厚生会と共催
※	連続講座	「池澤夏樹と福永武彦」ほか 池澤夏樹展関連3講座	11/11(土)、11/12(日)、 11/18(土)、11/19(日)	140	
※	ウィークエンド カレッジ	「児童文学」ほか6分野 前期・後期 合わせて延べ13講座	前期7講座延べ55回 後期6講座延べ34回	647	
※	ロビーコンサート	「ドップラー、ロッシーニらの名曲をフルートであなたに」(札幌：森圭吾氏ほか)	12/10(日)	49	
	ファミリー文学館	知床の自然を描く～関屋敏隆絵本原画展～	9/9(土)～10/1(日) (20日間)	1,979	
※	わくわくこども ランド	手作り教室、絵本の読み聞かせ、楽器演奏、紙芝居など13事業	年度間14日間	792	
	映画鑑賞会	「キューポラのある街」(1962年 日活 早船ちよ原作)	5/14(日)	71	
	映画鑑賞会	「ハッピーバースデー～命かがやく瞬間～」(アニメ 青木和雄原作)	8/20(日)	61	
	映画鑑賞会	「氷点」(三浦綾子原作)	11/12(日)	89	
	映画鑑賞会	「水戸黄門」(月形龍之介映画生活38周年記念、直木三十五原作)	3/4(日)	86	
	秋の文学道場	「中・高生のための創作講座」(講師：作家・加藤多一氏ほか)	10/21(土)、10/28(土)、 11/3(金)	33	
	ビデオ制作事業	前年度の北部編に続く「札幌・南部編」(DVD20分)を制作			
※	市町村連携事業	「トークの夕べ」(講師：作家・池澤夏樹氏、作家・佐々木譲氏、北海道文学館理事長神谷忠孝)	10/21(土) 会場：帯広市 (とちかちプラザ)	180	帯広市教育委員会、帯広大谷短期大学、(財)北海道教職員厚生会と共催
	学校教育と連携	<p>◇修学旅行・校外学習——学校の求めに応じて、一部展示解説や施設案内を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行 奈井江町江南小(6/20、5名)、滋賀県立水口東高(8/29、2名)、兵庫県立播磨南高(1/31、5名)</li> <li>・校外学習 厚別南中(6/2、13名)、千歳市向陽台中(6/2、4名)、札幌市栄西小(6/23、6名)、石狩市八幡小(6/28、32名)、北広島市西部中(6/30、12名)、北広島市広葉中(8/22、15名)</li> </ul> <p>◇短歌コンテスト——石川啄木展の関連事業として実施。応募期間7/10～8/15。表彰式8/19。作品を文学館で展示。道内およそ30校の小・中学校の児童・生徒から618首の応募があった。入選27首。</p> <p>◇探検クイズ——文学館展示室から小学生の学習のヒントになるクイズを出題。正解者にオリジナルシールを配付。開館期間通年で実施。年度間726名の小学生が参加。</p>			



#### IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 特別企画展「石川啄木～貧苦と挫折を超えて～」関連資料調査
- ② 特別企画展「池澤夏樹のトポス」関連資料調査
- ③ 企画展「写・文交響 写真家綿引幸造の世界から」関連資料調査
- ④ 企画展「くデルス・ウザーラ」絵物語展」関連資料調査
- ⑤ 企画展「中山周三旧蔵資料展」関連資料調査
- ⑥ 企画展「人生を奏でる二組のデュオ展」関連資料調査
- ⑦ 特別企画展の図録作成に要する調査
- ⑧ 副読本「北海道の文学」の編集に関わる資料調査
- ⑨ 船山馨・滋生関連資料調査
- ⑩ 太宰治関連資料調査
- ⑪ 山田昭夫関連資料調査
- ⑫ 児童雑誌所在調査

#### V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援名義並びに主共催名義の使用を承認して支援した。

- ① 斎藤茂吉記念第12回中川町短歌フェスティバル（中川町教育委員会主催）  
（平成18年6月1日～7月20日 中川町教育委員会）
- ② サハリン文学紀行実行委員会  
「宮沢賢治と北原白秋 小熊秀雄の詩の旅」  
（平成18年8月8日～8月11日 サハリン）
- ③ 日本詩人クラブ、日本詩人クラブ札幌イベント実行委員会  
「現代詩講演会」  
（平成18年5月27日 北海道立文学館講堂）
- ④ 日本児童文学者協会、日本児童文学者協会北海道支部  
「北の童話」講演会  
（平成18年9月30日 北海道立文学館講堂）
- ⑤ 札幌おはなしの会  
「大人が楽しむおはなし会」  
（平成18年11月4日 北海道立文学館講堂）
- ⑥ クリスマス朗読とハーブの夕べ実行委員会  
「クリスマス朗読とハーブの夕べ」  
（平成18年12月8日 北海道立文学館地階ロビー）

#### VI 啓発広報事業

- ① 施設案内、常設展リーフレット、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行
- ② 「北海道文学館報」第65号（平成18年4月）、第66号（平成18年7月）、第67号（平成18年10月）、第68号（平成19年2月）の編集発行

## Ⅶ 刊行物の刊行事業

- ① 特別企画展「石川啄木～貧苦と挫折を超えて～」図録の刊行
- ② 企画展「人生を奏でる二組のデュオ」図録の刊行
- ③ 平成 17 年度年報の刊行

## Ⅷ その他の付帯事業

- ① 博物館学芸員実習生の受け入れ

博物館実務実習として平成 18 年 7 月から 19 年 2 月まで、次の 5 大学の 11 名を 2 週間毎に 1 名ずつ受け入れた。

北海道教育大学函館校 1 名、北海道武蔵女子短期大学 2 名、北海道教育大学札幌校 3 名、札幌大学 3 名、北海道文教大学 2 名

- ② 古書バザールの実施

平成 18 年 4 月～同 19 年 3 月、文学館ロビーで通年実施（古書バザール実行委員会）

## ■ 統計・資料 ■

### I 平成18年度 展覧会別観覧状況

区 分	常設展	特別企画展		企 画 展				計		
	北海道の文学	石川啄木展	池澤夏樹展	人生を奏でる二組のデュオ	綿引幸造展	デルス・ウザーラ絵物語	書房の余滴			
開催日数	299	37	44	30	44	30	37			
観覧者総数	6,670	2,756	1,967	609	1,217	983	546	14,748		
有 料	個 人	一 般	1,308	1,680	789	109	307	983	77	5,253
		高大生	177	45	53	7	15	0	1	298
		小中生	1,426	55	16	50	96	0	19	1,662
		幼 児	32	16	4	0	2	0	0	54
		小 計	2,943	1,796	862	166	420	983	97	7,267
	団 体	一 般	1,070	440	285	74	136	0	53	2,058
		高大生	104	29	8	18	22	0	16	197
		小中生	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計	1,174	469	293	92	158	0	69	2,255		
免除・招待	2,553	491	812	351	639	0	380	5,226		
合 計	6,670	2,756	1,967	609	1,217	983	546	14,748		

### II 平成18年度 事業別利用状況

区分	月別													合 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
特別会計事業	常設展	241	663	668	578	941	607	950	750	278	266	316	412	6,670
	石川啄木展				498	2,258								2,756
	池澤夏樹展							864	1,103					1,967
	二組のデュオ展											173	436	609
	閲覧室	148	202	143	144	235	167	97	140	55	118	125	125	1,699
	文芸講演会				82			100						182
	文芸セミナー	65												65
	ファミリー文学館(展示事業)						1,823	156						1,979
	映画鑑賞会		71			61			89					307
	文学道場							22	11					33
	小 計	454	936	811	1,302	3,495	2,597	2,189	2,093	333	384	614	1,059	16,267
	財団自主事業	綿引幸造展	186	829	202									
デルス・ウザーラ展				647	336									983
中山周三旧蔵資料展									263	283				546
文芸講演会・セミナー							33	175	140			52		400
連続朗読会								182						182
ウィークエンド カレッジ			23	91	93	78	125		48	54	45	60	30	647
〜わくわく〜こどもランド		50	112	30	82	123	56	43	91	142		63		792
ロビーコンサート										49				49
市町村連携事業								180						180
カルチャーナイト2006					169									169
小 計		236	964	970	680	201	214	580	279	508	328	175	30	5,165
特別展示室・講堂利用者	107	149	125	148	30	52	149	228	70	93	127	158	1,436	
合 計	797	2,049	1,906	2,130	3,726	2,863	2,918	2,600	911	805	916	1,247	22,868	

### Ⅲ 平成 18 年度 資料収集状況

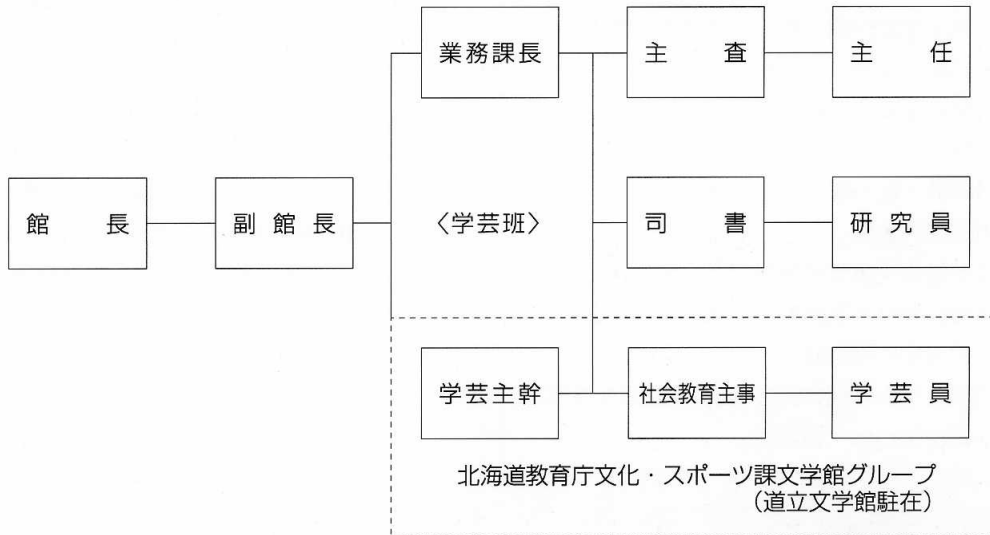
区 分	購 入 点 数	受 贈 点 数	合 計
函 書 資 料	298	513	811
雑 誌 資 料	486	1,988	2,474
視 聴 覚 資 料	0	3	3
特 別 資 料	39	1,701	1,740
計	823	4,205	5,028

#### 〈主な収集特別資料一覧〉

・久保栄着用背広（上下揃い、黒ダブル）	1点	寄贈
・久保栄愛用ステッキ（木製黒、丈 89 cm）	1点	寄贈
・小笠原克自筆原稿「林檎園日記を書くまで」、中沢茂自筆原稿「小野連司という妙な詩人」、小檜山博自筆原稿「作品の運命」など、小笠原黎氏からの受贈資料	1,662点	寄贈
・吉田一穂自筆詩稿「后園」（400字詰3枚完）	1点	購入
・島木健作自筆書簡（中央公論社）木内高音宛	1点	購入
・「椎の木」第1冊、第2冊、第3年第3号、「セルパン」第101号、「信天翁」創刊号	5点	購入
・「文藝汎論」第2巻第10号、第2巻第12号、第3巻第12号、第5巻8号	4点	購入
・日本プロレタリア詩集（1929年）	1点	購入
・吉田一穂・児童絵本4種（「水ハウタツテイク」「ウマノイナナキ」「カイコノムラ」「ムラノウタ」）	4点	購入
・「北村十吉」	1点	購入
・「青空」故並木凡平先生追悼特輯	1点	購入
・GDパヴリーシン画「森の人 デルス・ウザラー」挿画より「ノロジカ」「ヤマネコ」	2点	購入
・寒川光太郎自筆原稿「動物愛の物語1 牧場の角大将」（400字詰22枚）	1点	購入
・寒川光太郎自筆原稿「シュムシュ島綺譚」（400字詰35枚）	1点	購入
・子母澤寛自筆原稿「北海道の味覚」（400字詰20枚）	1点	購入
・「函館の小学生」第196号、第203号、第204号、第205号、第209号、第210号	6点	購入
・綿引幸造写真「林間のエゾヤマザクラ」他	10点	購入

## ■ 組織及び職員 ■

### I 組織機構図



### II 職員

(平成19年3月31日現在)

職名	氏名	職名	氏名
館長 (財団副理事長)	毛利正彦	業務課学芸班 研究員	亀井志乃
副館長 (財団専務理事)	平原一良	北海道教育庁文化・スポーツ課 文学館グループ(道立文学館駐在)	
業務課長 (財団常務理事)	川崎信雄		
業務課主査	永野キエ		
業務課主任	丹伊田範子	社会教育主事	鈴木浩
業務課学芸班司書	岡本茂子	学芸員	阿部かおり

## ■ その他 ■

### I 文学館の歩み

年次	事 項	年次	事 項
昭和42	北海道文学館設立総会、館報1号発行、有島武郎文学展	60	北海道文学展示室が常設展に移行、北海道俳句展、北原白秋展、文学にみる北方風物展、更科源蔵初代理事長死去、『北海道文学大事典』発行、地域文化功労者賞受賞
43	文学に見る北方風物展	61	日本の文学館風景展、和田謹吾理事長就任、歌誌「原始林」40周年記念展、「石川啄木と野口雨情」文学風物展、石森延男と札幌の児童文学展、詩誌「核」30周年記念展
44	北海道旅の文学展	62	『北海道文学百景』『北海道文学絵はがき』発行、北海道文学館歩み展、北海道文学館20周年記念祝賀会および記念展、俳句誌「氷原帯」創刊40周年記念展
45	伊藤整・亀井勝一郎文学展	昭和63	北海道歌人会創立35周年記念展、北海道新聞文学賞展、『北海道文学読本』発行、没後30年久保栄文学展、近代日本の文豪——森鷗外展、財団法人北海道文学館設立
46	北海道詩歌展	平成元	胆振文学展・目で見える風土と文学、俳句誌「葦牙」創刊700号記念展、北海道女流作家第一号森田たま展、北海道川柳展、作家生活25年記念三浦綾子展（札幌、旭川）
47	目で見える札幌文学散歩	2	児童文学「新十津川物語」展（札幌、新十津川）、移動展・石川啄木と野口雨情展、文化情報誌「ニュースきょうどう・カムイミンタラ」展、歌誌「新壘」創刊60周年記念展、北のロマンを奏でる——渡辺淳一文学展、市町村文芸誌展——道東・道北編
48	藤村における旅資料展、久保栄文学展、札幌の文学・百年展	平成3	市町村文芸誌展——道央・道南編、移動展・石森延男と室蘭の児童文学展、文学展・北海道花の歳時記、来道60周年記念斎藤茂吉展、文芸誌「赤煉瓦」とその周辺展
49	文学にみる札幌風物展、北海道女流文学展、小田観螢・人と作品展	4	設立25周年記念・有島武郎と木田金次郎展、北電文化誌「フロンティア」著名作家原稿展、文学展・北海道花の歳時記（室蘭）、北の文学風物誌展（冬の巻）、らいらっく文学賞展
50	札幌の作家展（戦前の巻）、戦後30年・北海道文学展、札幌の作家展（戦後の巻）、川柳に見る戦後の札幌展	5	俳句誌「アカシヤ」500号記念展、札幌文学
51	碑にみる北の文学展、林不忘・長谷川四郎兄弟展、石狩川流域文学展、歌人・山下秀之助展		
52	札幌の文学サークル展、文学展・北の海、札幌・戦後演劇展		
53	文学展・ふるさとの窓、北海道児童文学展、さっぽろの俳句展		
54	札幌市資料館に館看板掲示、現代北海道短歌展、風土のなかの文学碑展、『北海道文学地図』発行		
55	現代北海道俳句展、北海道岬文学展、児童文学と絵日記展——石森延男・その周辺——		
56	雑誌「北方文芸」展、石森延男児童文学展、館所蔵文芸雑誌閲覧開始、北海道岬・文学展、高橋留治氏から3000余冊の詩書等寄贈、北海道文学全集展		
57	島木健作文学展、船山馨文学展、北海道・湖文学展、鮫島交魚子・加藤愛夫文学展		
58	寺田京子・宮田益子・森みつ三人展、文学展・大地と人間、にんげん坂本直行展——その絵と文学——		
59	北海道児童文学全集展、北海道演劇資料展		

年次	事項	年次	事項
	散歩展、没後 25 年・道立文学館着工記念 伊藤整文学展、北海道詩人協会 40 周年記念展		特別企画展・函館—青森海峡浪漫〜〈北の 20 世紀〉を紡いだ作家たち〜
6	文学・北の歳時記展、文学展・札沼線沿線の旅、北の山と文学展、和田謹吾理事長死去		企画展・詩人百田宗治の戦後〜北海道に残したもの〜
7	澤田誠一理事長就任 北海道立文学館開館記念特別展・北の夜明け、所蔵品展・私の愛した抒情詩人たち	16	特別企画展・写真家掛川源一郎の 20 世紀 特別企画展・更科源蔵生誕 100 年 北の原野の物語
8	特別企画展・北海道の俳句、特別企画展・久保栄と北海道、所蔵品展・船山馨の文学世界		企画展・アイヌ語地名を歩く——山田秀三の地名研究から——
9	特別企画展・森田たまと素木しづ、特別企画展・青春と文学、所蔵品展・書簡に探る作家の素顔		企画展・仙花紙からの出発〜雑誌に見る「戦後」の姿
10	特別企画展・北海道の短歌、特別企画展・有島武郎とヨーロッパ、企画展・吉田一穂とその時代		企画展・北の風土の批評精神 発生と展開〜風巻景次郎から小笠原克へ〜
11	特別企画展・夏目漱石と芥川龍之介、特別企画展・〈本〉はどこに向かうのか、所蔵品展・本庄陸男と『石狩川』	17	企画展・現代少年少女詩・童謡詩展 特別企画展・神沢利子の世界〜北を想う・北を描く〜
12	特別企画展・挿絵と装幀の小宇宙 特別企画展・「北緯五十度」の詩人たち 企画展・花咲く北の川柳展		特別企画展・原田康子の北海道〜小説「挽歌」から 50 年〜
13	特別企画展・夢の世界のおくりもの〜アンデルセン童話・絵本原画展〜 特別企画展・100 年目の小熊秀雄〜20 世紀詩のアヴァンギャルド〜		企画展・サハリン追跡〜残留朝鮮人の軌跡ファミリー文学館・春を待つ子どもたち〜いわさきちひろ複製画展〜
	企画展・映画ポスターに見る北海道の文学	18	特別企画展・石川啄木〜貧苦と挫折を超えて〜
14	神谷忠孝理事長就任 特別企画展・寺山修司展〜テラヤマ・ワールド——きらめく闇の宇宙〜 特別企画展・大自然に抱擁されて〜知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ〜		特別企画展・池澤夏樹のトポス〜旅する作家と世界の出会い〜
	企画展・中沢茂“ひとりの賑やかさ”〜根室と霧と芸術家たち〜		企画展・人生を奏でる二組のデュオ〜有島武郎と木田金次郎・里見淳と中戸川吉二〜
15	特別企画展・生誕 100 年記念 林芙美子展		企画展・写・文交響〜写真家・綿引幸造の世界から〜
			企画展・〈デルス・ウザーラ〉絵物語展 企画展・書房の余滴〜中山周三旧蔵資料から〜

## II 諸会議・運営日誌

- H18 4月1日(土) 指定管理者制度による館運営スタート  
22日(土) 「わくわくこどもランド」(手作り教室・こいのぼり)  
29日(土) 企画展「写・文交響～写真家・綿引幸造の世界から～」オープン(～6月4日)  
29日(土) 文芸セミナー「ファインダーの向こうへ」(綿引幸造)  
5月5日(金) 「わくわくこどもランド」(こどもの日スペシャル)  
13日(土) ウイークエンドカレッジ前期開講  
14日(日) 映画鑑賞会「キューポラのある街」  
17日(水) 財団「監事監査」  
19日(金) 財団「役員改選小委員会」、「運営検討委員会」  
30日(火) 財団「理事会」、「評議員会」  
6月3日(土) 「わくわくこどもランド」  
10日(土) 企画展「くデルス・ウザーラ 絵物語」オープン(～7月9日)  
18日(日) デルス・ウザーラ絵物語展講演会(舟山廣治、矢島 睿)  
30日(金) ポエトリーリーディング(熊谷ユリヤ)  
7月21日(金) 「カルチャーナイト2006」(しおり作り、鬼剣舞公演)  
21日(金) 石川啄木展プレオープン  
22日(土) 特別企画展「石川啄木～貧苦と挫折を超えて～」オープン(～8月27日)  
22日(土) 文芸講演会「啄木の歌をどう読むか」(中村 稔)  
28日(金) 財団「収集資料選定評価専門委員会」、「企画検討委員会」  
30日(日) 「わくわくこどもランド」(手作り教室・うちわ)  
8月8日(火) 「わくわくこどもランド」(手作り教室・紙芝居)～9日  
12日(土) 「わくわくこどもランド」(夏休みスペシャル)  
19日(土) 短歌コンテスト表彰式  
20日(日) 映画鑑賞会「ハッピーバースデー～命かがやく瞬間～」  
25日(金) 中国人作家・莫言氏来館  
9月9日(土) ファミリー文学館「知床の自然を描く～関屋敏隆絵本原画展～」オープン(～10月1日)  
9日(土) 文芸セミナー「知床を描く」(関屋敏隆)  
13日(水) 財団「企画検討委員会」  
23日(土) 「わくわくこどもランド」  
10月7日(土) 「わくわくこどもランド」  
9日(月) 「小笠原賢二を語る会」(主催：響文社)  
13日(金) 池澤夏樹展オープニングセレモニー  
14日(土) 特別企画展「池澤夏樹のトボス～旅する作家と世界の出会い～」オープン(～11月26日)  
14日(土) 文芸講演会「世界との出会い」(池澤夏樹)  
15日(日) 文芸講演会「『静かな大地』誕生余話」(池澤夏樹)  
17日(火) 朗読の集い(朗読とお話：池澤夏樹)  
18日(水) 朗読の集い(朗読とお話：池澤夏樹)



- 19日 (木) 朗読の集い (朗読とお話：池澤夏樹)
- 21日 (土) トークの夕べ (池澤夏樹、佐々木譲、神谷忠孝)
- 21日 (土) 秋の文学道場「中・高生のための創作講座」
- 22日 (日) 朗読の集い (朗読とお話：池澤夏樹)
- 22日 (日) 松井信子朗読会 (主催：NHK 文化センター)
- 28日 (土) 秋の文学道場「中・高生のための創作講座」
- 11月 3日 (金) 秋の文学道場「中・高生のための創作講座」
- 4日 (土) 「大人が楽しむおはなし会」 (主催：札幌おはなしの会)
- 5日 (日) 「わくわくこどもランド」
- 11日 (土) ウィークエンドカレッジ後期開講
- 11日 (土) 連続講座「池澤夏樹と福永武彦——『夢の輪』の広がり」 (田口耕平)
- 12日 (日) 連続講座「池澤夏樹『静かな大地』をめぐって」 (花崎皋平)
- 12日 (日) 映画鑑賞会「氷点」
- 18日 (土) 連続講座「池澤夏樹の詩とエッセイを読む」 (平原一良)
- 19日 (日) 連続講座「池澤夏樹の視点——『パレオマニア』の13の旅」 (寺嶋弘道)
- 12月 8日 (金) 「朗読とハーブの夕べ」 (熊谷ユリヤ他)
- 9日 (土) 企画展「書房の余滴～中山周三旧蔵資料から～」オープン (～1月27日)
- 9日 (土) 「わくわくこどもランド」 (手作り教室・ツリー)
- 10日 (日) ロビーコンサート (札幌：森圭吾、高橋聖純、森可奈子)
- 20日 (水) 財団「企画検討委員会」
- 23日 (土) 「わくわくこどもランド」 (クリスマススペシャル)
- 2月 3日 (土) 「わくわくこどもランド」
- 3日 (土) 「ロシア人のみた日本～シナリオ作家イーゴリのまなざし～」オープン (主催：イーゴリ・ジュギリョフ展実行委員会) (～8日)
- 17日 (土) 企画展「人生を奏でる二組のデュオ～有島武郎と木田金次郎 里見淳と中戸川吉二展～」オープン (～3月18日)
- 25日 (日) 文芸セミナー「有島武郎と北の創造者」 (亀井志乃)
- 3月 4日 (日) 映画鑑賞会「水戸黄門」
- 9日 (金) 常陸宮同妃両殿下お成り
- 15日 (木) 財団「運営検討委員会」
- 23日 (金) 財団「理事会」、「評議員会」
- 30日 (金) 財団「収集資料選定評価専門委員会」

### III 財団法人北海道文学館役員等名簿

(平成19年3月31日現在)

顧問	池澤 夏樹	加藤 幸子	木原 直彦	坂野上 明	澤田 誠一	長野 京子
	原田 康子	堀 寛	山口 昌男			<9名>
参与	上西 晴治	木村 敏男	木村真佐幸	工藤 欣彌	小杉 捷七	鈴木 光彦
	高嶋 二郎	谷口亜岐夫	永井 浩	永田 富智	新妻 博	樋口 游魚
	比良 信治	山名 康郎				<14名>

#### 役職員

理事長 1	神谷 忠孝	評議員 1	東 延江	評議員 25	佐藤 将寛	評議員 49	時田 則雄
副理事長 2	朝倉 賢	// 2	阿知良光治	// 26	佐野 良二	// 50	富田 正一
// 3	小檜山 博	// 3	新井 章夫	// 27	澤辺 成徳	// 51	中澤千磨夫
// 4	原子 修	// 4	飯塚 優子	// 28	柴橋 伴夫	// 52	中島 洋
// 5	毛利 正彦	// 5	石塚 純一	// 29	白野 覚	// 53	中館 寛隆
専務理事 6	平原 一良	// 6	伊藤 芳明	// 30	菅原 政雄	// 54	中山 昭彦
常務理事 7	川崎 信雄	// 7	内田 弘	// 31	杉野 一博	// 55	野坂 政司
理事 8	加藤 多一	// 8	大川佐稚子	// 32	鈴木八駿郎	// 56	野坂 幸弘
// 9	亀井 秀雄	// 9	小笠原治嘉	// 33	瀬戸 正昭	// 57	橋本 征子
// 10	工藤 正廣	// 10	押野 武志	// 34	高橋 明雄	// 58	菱川 善夫
// 11	斎藤 大雄	// 11	小野規矩夫	// 35	高橋 秀明	// 59	平澤 秀和
// 12	斉藤 征義	// 12	笠井 嗣夫	// 36	滝谷 泰星	// 60	松嶋 東洋
// 13	柴村 紀代	// 13	金丸 義昭	// 37	武井 静夫	// 61	光城 健悦
// 14	立花 峰夫	// 14	菊地 慶一	// 38	田口 耕平	// 62	森 一生
// 15	谷 暎子	// 15	菊地 寛	// 39	田中 綾	// 63	藪 禎子
// 16	辻脇 系一	// 16	岸 美千代	// 40	田中 和夫	// 64	山下 和章
// 17	前川公美夫	// 17	熊谷ユリヤ	// 41	田中 厚一	// 65	山本 丞
// 18	源 鬼彦	// 18	倉島 齊	// 42	谷口 孝男	// 66	若宮 明彦
// 19	村井 宏	// 19	小林 真二	// 43	千葉 宣一	// 67	鷲谷 峰雄
// 20	村田 俊秋	// 20	後藤軒太郎	// 44	知里むつみ	// 68	和田 由美
// 21	八子 政信	// 21	斎藤 一郎	// 45	手島圭三郎	// 69	綿引 幸造
// 22	米坂 ヒデノリ	// 22	桜井 健治	// 46	寺田 文恵		
監事 1	吉田 秋陽	// 23	佐々木 譲	// 47	出村 文理		
// 2	井上 洋二	// 24	佐藤庫之介	// 48	藤堂志津子		

#### 運営検討委員会

<5名+副理事長1名>

副理事長	1	朝 倉 賢
理事	2	加 藤 多 一
//	3	斉 藤 征 義
//	4	谷 暎 子
//	5	前 川 公美夫
評議員	6	平 澤 秀 和

#### 収集資料選定評価専門委員会

(任期：H 18.7.1～H 20.6.30)

<5名>

参 与	1	谷 口 亜岐夫
理 事	2	工 藤 正 廣
//	3	立 花 峰 夫
//	4	村 田 俊 秋
評 議 員	5	出 村 文 理

#### 企画検討委員会

<14名+副理事長1名>

副理事長	1	原 子 修
理 事	2	工 藤 正 廣
//	3	柴 村 紀 代
//	4	立 花 峰 夫
//	5	源 鬼 彦
評 議 員	6	石 塚 純 一
//	7	内 田 弘
//	8	佐 野 良 二
//	9	谷 口 孝 男
//	10	知 里 む つ み
//	11	松 嶋 東 洋
//	12	森 一 生
//	13	藪 禎 子
//	14	若 宮 明 彦
//	15	和 田 由 美



平成18年度年報

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

**北海道立文学館**

〈指定管理者〉財団法人 北海道文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号

TEL(011)511-7655 FAX(011)511-3266